



ふらとの出会い

埼玉県 島田 浩瑞さん

生後間もなく喘息とアトピー性皮膚炎（当時は湿疹と言われていました）を発症した私は病気といつも向き合われていました。

幼時から小学生の頃は、喘息の発作がいつ起こるとも恐れ怖と闘いつつも私は比較的かぎっ子だったこともあり自由闊達に過ごしました。治療においては、体質改善の為の食事療法、減感作療法、漢方治療に始まり鍼、灸、温泉、栄養補助食品、アロエや馬油などなんでも行ってきました。

三十歳までの私は、アトピーに振り回され続けた人生の割には『なんとか生活できればいいや』と諦めとも達観とも言えない心境の中で日々生活していました。そんな中で平成二十三年八月。婚



活でお世話になってい
た方から
『とてもア
トピーに良

い布があるから、是非話を聞きに行つて欲しい』と東松山の丸田さんを紹介されました。当初私は『またか』という思いでいました。それは、何かという人様に『いい薬があるよ』とか『いい方法があるよ』というお話をいただく機会が度々あったからです。

しかし、皮膚科に頼った治療では根本的な解決にはつながらないことも今までの経験で分かっていた。値段や費用を聞くと決して安いとは言えません。私は決めかねていましたが、小さなふらで自分自身で実験を始めました。

風呂で少しづつ『拭く』というより『撫でる』程度に全身にあててみました。すると、見る間にお湯に垢とも汚れともつかないものが出てきました。使った後は完全に乾かないように部屋の日に当たらないところで陰干ししていました。半月程して一つ目の布良が臭くなつてしまいい生地もごわごわになつていき新しいのに変えたところ、身体に変化が出てきました。顔は使用して三日目に腫れあがり、すぐに使用を中止しましたが、首から下は布良で撫でていました。始め一週間後、白いフケのようなものが全身から出てきて、そのうち身体が熱くなつてきたかと思

うと、ところどころどす黒くなつて腫れているように見えました。やがて体中が熱くなり、所々痛みもありました。仕事中に耐えられなくなつてとうとう皮膚科に行き「ふら」を中止しました。

しかし、わずか二週間での実験で決心がつかしました。「体から毒が出る」という考え方は他の自然を使った治療でもあり、実際行ってきたことがあったので「信頼できる」と思つたのです。

今は、体全体ではなく、両手首と両足首のみ「布良」での処置を続けています。ブランケットとシーツは毎日ではなく、間隔をおいてつかつていますが、とてもぐっすり眠ることができるので週末に使つています。これからも、少しずつ自然に戻るように自分のペースで「布良」にかかわつていきたいと思います。

紹介者 丸田さんからの追伸

島田さんとは我が家のつどいで出会いました。彼は生れつきのアトピーで40数年ありとあらゆる治療をして来たのにもかかわらず何をやっても効果なく苦しんで来た方です。一目見てあまりの凄さに一同息を飲むほどでした。顔は象の肌のようにグレー色、

手はクレーターの如くの凹凸だらけでした。私は大きな衝撃を受け、介護の仕事をしている彼には即座の会員は無理だったので、ふらそののタオルでパジャマ上下を縫つてあげ、まずそこからスタートしました。半年ほど悪くなつたり良くなつたりを繰り返して、こんど集いで家に来てもらつたら、顔色も肌の色になり、手の凹凸もあまり無くなり確実に快方に向かっているのを見て本当に嬉しく思いました。

彼の体験が布良の普及へ繋がり、多くのアトピーで苦しむ方々の励みになつたらと思ひます。

熊本のつどい

久しぶりやね、のあいさつが飛び交う熊本でのつどいでした。

長い間の沈黙を破り開催しました。午前中に集まり皆さんとランチ（本格中華コース）を頂きました。



次回は6月19日（火）12時半からウイング松橋で開催します。連絡は堀川さんまで

被災地支援 ふらのわ会だからこそそのチカラ

一枚の布からはじまる

ふらのわ会が行った東日本大震災被災地への寄付。

それは旧デザイン（茶のラインのないもの）の布良愛クロスを、ふらのわ会員に一枚1000円で購入していただき、その売上げを寄付するというものでした。布良の使い方を説明できれば、クロスそのものを使っていたことが、不便な暮らしの中では一番役立つのですが、その説明が直にできないために金銭での寄付となり、本部としては少し残念に思っていました。ところが、ふらのわ会員の方同士で、ふらそらを被

災地へ贈る支援を行ってくださった方がありました。

●元小学校教諭だった安齋作子さんは、震災後にすぐ石巻のボランティアに入られました。現場では、物資の行き届かないところが多く、また不足しているものも集落によって違っていました。

「石けんやシャンプーを使わずにきれいになり、気持ちも癒してくれる布良。一枚で何通りにも役立つ布良を、被災地に届けたいと思いました」。そんな安齋さんの想いに、会員の松井恵美子さんが応え、貯めてあったポイント預かり券で、ふらそら4を100枚購入し、被災者のために、安齋さんに託したのです。

「気持ちよくて、あたたかくて。みなさんに本当に喜んでいただけました」と安齋さん。

東日本大震災にも
がおんねえで、
がんばっぺ！
みんなで心つなげば
だいじょうぶさ。



あすへの一步 東日本大震災被災者の会

布良本来の被災地サポートを、ふらのわ会員の手によって行えたことをとてもうれしく、誇りに思っています。愛用者の輪も広がっています。

●本部では、布良を広めることを通して、健康や環境によく、そして社会貢献にも繋がっていくような、そんな事業をきちんと築いていきたいとあらためて考えています。

ふらのわ会だからこそそのチカラを集めて、素晴らしい和・輪・環を繋いでいきたいと思うのです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

*現在、安齋さんは東日本大震災被災者の会「一步会」の事務局長として精力的に活動をされています（上写真左端がご本人）

限定製品

四季咲きミニマフラー

これからの季節にも大活躍する、布良の糸で織り上げたミニマフラー！ 小さなお子さんから年配の方まで、性別も問わずに愛用できます、実用性とファッション性を兼ね備えた自信作で、詳しくは、ご紹介のリーフレットを同封しましたので、ご覧ください。

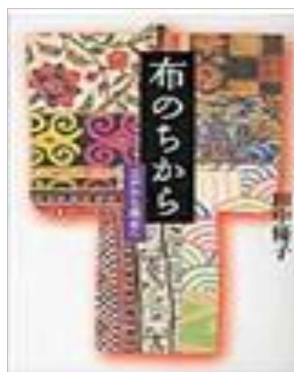
プレゼントにも喜ばれること
うけあいです！



ふらのわBOOK紹介

『布のちから 江戸から現在へ』

朝日新聞出版 田中優子



「アジア文化の中で、手作りの布はどのよう

に作られ、流通してきたのか？」を、メディアとしての布、布が意味するもの、皮膚と布などの視点から、多様な逸話や事例をもとに読み解き、あるいは布を織ること、巻くこと、結び解くことなどの利用法から、筆者らしい魅力的な文章で浮き彫りにし、迫っています。

私たちが、布良の布たちから受け取る数々の幸福感や安らぎ、心身へのメッセージなどに通じ、大きな共感を得ることのできる一冊。布の持つ力に、あらためて気づかされることでしょう。

*ふらのわ会員の穂積玲子さんからの推薦いただいた本です。

～ つどいの予定 ～

東京本部つどい 開始時間 昼 13:30 ～ 本部アートサロン



5月	1日 (火)	9日 (水)	17日 (木)	25日 (金)
6月	7日 (木)	15日 (金)	21日 (木)	25日 (月)
7月	3日 (火)	13日 (金)	19日 (木)	27日 (金)

5 月 度 全 国 の 予 定

地区名	月 日	時 間	場 所	お 問 合 せ
麻 生 区	5月12日 (土)	13時30分	ライリッヒストレーレ201 ふるさと公園前 神奈川県川崎市麻生区東3-31-15	内山さん 044-455-4884
大 阪	5月14日 (月) 6月23日 (土)	13時30分	ふらっとプラス「大阪」リーガルタワー 大阪 1401 大阪府 大阪市 中央区 淡路町 3-4-8	笥(カケイ)さん 090-3621-3692
京 都	5月16日 (水) 6月24日 (日)	〃	ふらっとプラス「京都」 京都市東山区三条通り南四筋白川筋西入稻荷町北組567	和田さん 070-6685-0627
山梨県 藤 野	5月28日 (月)	〃	お問合せ下さい。	大和さん 055-456-7650
福 岡	5月7日 (月) 6月18日 (月)	〃	ふらっとプラス「福岡」 福岡市中央区薬院 1-16-18 エジマビル 202	田島さん(月,水,金) 092-771-2516
熊 本	6月19日 (火)	〃	松橋ウイング 研修室 和室 熊本県 宇城市 松橋町 大野	堀川さん 090-8837-8097
札 幌	5月21日 (月) 6月8日 (金)	〃	北海道本部 札幌アートサロン 札幌市 中央区 北一条西 10 丁目 1-3 タナベビル7階	011-261-5615
室 蘭	5月24日 (木) 6月12日 (火)	〃	ふらっとプラス「室蘭」星のおくりもの 北海道 室蘭市 東町2丁目27	大谷さん 090-9087-5714
帯 広 音 更	5月22日 (火) 6月09日 (土)	〃	北海道 河東郡 音更町 音更西1線46 吉田会員宅	吉田 会員 090-9085-8773
旭 川	5月23日 (水) 6月11日 (月)	〃	旭川市民生活館 旭川市 緑 町 15 丁目	佐藤さん 080-5587-0567
川 越	6月14日 (木)	〃	カフェ・シボネボルケ お茶 お菓子付 600円 川越市 下松原 鶴見野 652-25	斉藤さん 080-1324-2901
西 宮	6月22日 (金)	〃	ふらっとプラス「西宮」ぽからく庵 予約制 兵庫県 西宮市 能登町12-58	國貞さん 090-8720-1106

講年講場日
習会費師所時
代員代所時

一 会 員
般 員

2 1 3
5 5 0
0 0 0
0 0 0
円 円 円

中 西 陽 子 先生
本部布良アートサロン

5月2日・16日(水)
5月16日(水)
午前10時
13時30分

参加者募集
中
毎月第一・第二水曜日

ふらっとプラス
編者クラブ

講参内場日
師費容所時
加 師 費 容 所 時

田 渕 高 阪 両 先 生

呼吸歪み整え法
本部布良アートサロン

5月21日(月)
13時から

健康談話サロン
2000円

本部サロン 電話 03-5540-8511

至東京駅八重洲中央
至日本橋駅

日比谷線八丁堀駅出口
東西線茅場町五番出口
日比谷線茅場町二番出口

法華院ホテル
ドコモ
マツダ
はなまる
布良アートサロン
1階 吉野家
はなまる
キンコーズ
ホテルユニバー

新大橋通り 八丁堀交差点

ローソン
ロイヤルホスト
ジョナサン

日比谷線 八丁堀駅 A5出口
東西線 茅場町 2番出口
東京駅 八重洲 南口バス
バス停 亀島橋下車 徒歩1分
東京駅 八重洲 中央口 徒歩15分 新大橋通角 左折

徒歩3分
徒歩6分
(ビッグサイト行き方面)
徒歩1分
徒歩15分 新大橋通角 左折